

養豚科の概要

鹿児島県立農業大学校畜産学部 養豚科

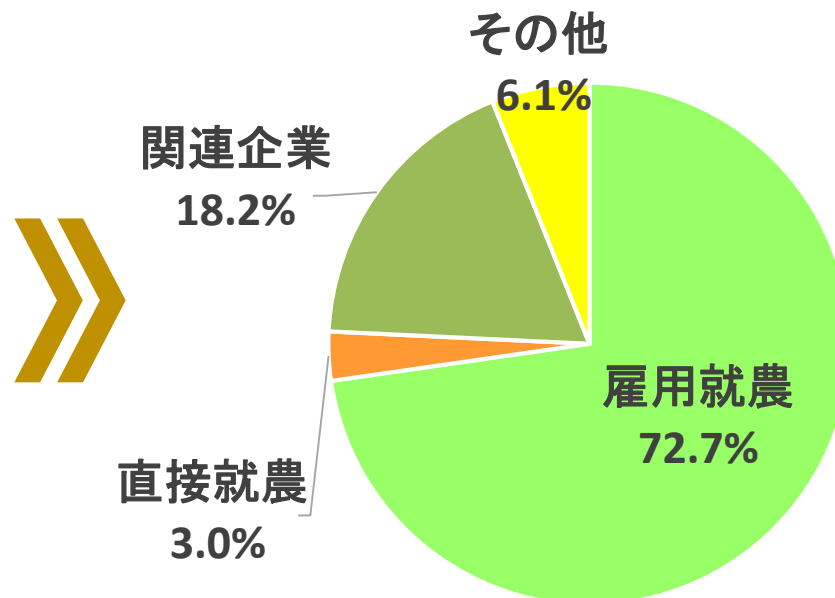
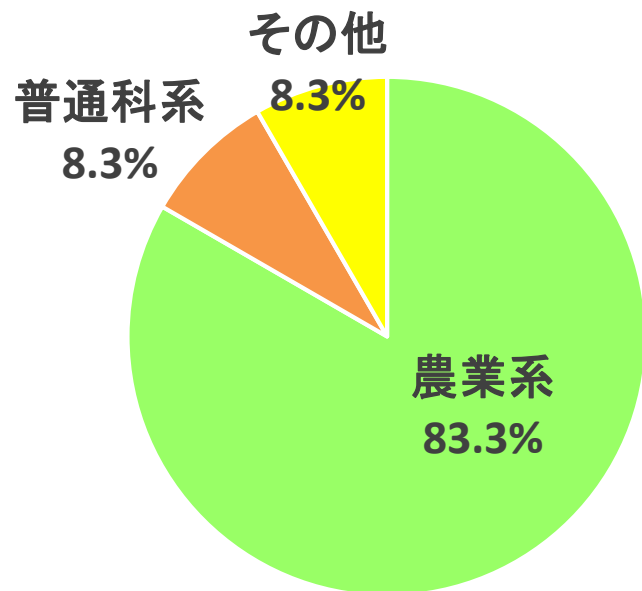


現在の在学状況

学 年	定 員	現 員	備 考
1 年 生 (4 8 期)	1 0 名	1 名	男子 1
2 年 生 (4 7 期)	1 0 名	7 名	男子 5, 女子 2
計	2 0 名	8 名	



出身校と進路(直近5か年)





養豚施設配置図



雄豚房 5 部屋

母豚ストール 10 頭分

精液採取室 1 部屋



2

養豚科施設の概要

～繁殖分娩豚舎 1 棟～

分娩豚房（高床式）8部屋

子豚豚房（高床式）12部屋

母豚ストール 10頭分



分娩舎外部



母豚ストール



分娩豚房



子豚豚房

群飼豚房 20 部屋



肥育豚舎外部



肥育豚房



飼養頭数 (R 7.4.1 現在)

	頭 数	内 訳
母豚	14頭	大型種 7頭 黒豚 7頭
種雄豚	4頭	デュロック 2頭 黒豚 2頭
ほ乳子豚	35頭	
子豚	50頭	
肥育豚	98頭	
合 計	183頭	

生産から加工まで一貫した教育の実施

1
年
生
次

- ・ かごしま黒豚及び3元大型種等の飼養管理技術を習得する。
- ・ 養豚経営に必要な飼料配合や生産技術を習得する。
- ・ 養豚施設の維持補修に係る溶接や配管等の技術を習得する。
- ・ 自給粗飼料生産や調製加工技術を習得する。
- ・ 6次産業化をテーマに豚肉の販売、加工技術を習得する。
- ・ アニマルウェルフェアやGAPに対応した豚の飼養管理技術を習得する。

2
年
生
次

- ・ 消毒やワクチンプログラム等の衛生管理技術を習得する。
- ・ 家畜糞尿処理の適切な処理技術の習得
- ・ 先進地研修の実施（海外，国内）
- ・ 県内の先進的養豚経営での40日間の農家留学研修
- ・ 家畜人工授精師資格の取得

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
養成1年次	● 入学式	●● 就農相談会 小型建機特別教育	● 農場引継	農場管理運営（1年間） 経営・研究プロジェクト								
				●●● 校内体育大会 経営プロ計画発表会 研究プロ（卒論）	●● 夏休み（農場当番） 玉掛け・小型移動式クレーン技能講習	● 九州地区親善体育大会		● 家畜解剖	●●● 校内プロ発表会 冬休み（農場当番） 農大祭			● 春休み（農場当番）
		←農業機械研修→										
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
養成2年次	農場管理運営			●● 農場引継 経営プロ実績発表会	● 家畜商講習会	●● 九州地区親善体育大会 研究プロ実績発表会	農家留学 研修 40日		●● 校内プロ発表会 農大祭	←海外研修→ 家畜人工授精講習会 退寮式		● 卒業式

エコーを用いた早期妊娠診断や人工授精技術を習得します。



放牧養豚を通じ、アニマルウェルフェア（動物福祉）について学びます。



食味調査や豚肉加工品の製造，校内販売を実践します。



経営プロジェクト

講義・研修等での学習を農場で実践し、飼養管理技術習得や農場運営の仕方、経営管理手法を学ぶ

農場全体の

1. 生理・生態観察
2. 管理作業記録
3. 技術成績調査
4. 収益性調査



研究プロジェクト

知識・技術をさらに深めるため、学生個々が課題を持ち、調査や試験を行い分析し、結果をとりまとめて発表する。

- 放牧飼育と焼酎かす給与によるストレス軽減効果の検証
- 放牧による肥育豚肉質の改善と作業量の比較
- 黒麹菌飼料の子豚発育への影響
- 黒麹菌飼料給与による肥育豚の発育改善効果の検証
- 繁殖豚への高繊維飼料給与の効果
- 人工哺乳が哺乳子豚に与える影響
- 焼酎かす給与が肥育豚の発育や枝肉成績に及ぼす影響

(47期生課題)

飼養管理技術・経営管理能力，課題解決能力の習得

本県の農業・農村を担う人材の育成



令和元年度 ニュージーランド
酪農複合牧場



令和元年度 ニュージーランド
チーズ工房



農家留学研修（受入農家との顔合わせ）



令和7年度 北海道研修(十勝マンガリツツア豚)

大型特殊自動車運転免許（農耕用）	アーク溶接特別教育
大型特殊自動車けん引免許（農耕用）	小型移動式クレーン
家畜人工授精師免許資格(豚)	玉掛け技能講習
家畜商免許	危険物取扱者（受験）
小型車両系建設機械運転特別教育	日本農業技術検定（受験）
フォークリフト運転技能講習	農業簿記検定（受験） 等



第33回ヤンマー学生懸賞論文・作文に応募し
「作文の部」で最高賞の金賞を受賞しました。



金賞：木暮千尋

タイトル：

私の心を変えた「大きな発見」
～異国の養豚から教えられたこと～

第33回ヤンマー学生論文

畜産学部入賞者との記念撮影

衛生的な環境で安心・安全な畜産物生産に取り組みます！



音波装置による妊娠鑑定



2年生から1年生への管理指導



JGAPチャレンジ認証審査の様子



畜産学部でのJGAP認証